

第17号

すだち

発行：
高次脳機能障がい
徳島家族会「すだち」
住所：
徳島市新浜町3丁目
(岩垣方)1-60

～定例交流会を充実した会に～

高次脳機能障がい徳島家族会「すだち」では、毎月第3土曜日を定例の交流の場として、10時から12時までの2時間、当事者、家族が集い交流を行ってきています。家族会結成7年目に入った今期も毎月充実した交流会がもたれています。

特に今期は、1月の総会に引き続き、2月交流会では、毎月の交流会の持ち方について話し合いを行うなど充実した交流会にしていく取り組みを行ってきています。

2月交流会 2月定例交流会では、永廣顧問の出席も得て定例交流会の魅力ある運営について話し合いました。

永廣顧問からは、徳島大学が高次脳機能障がい対策の四国の窓口として活動しており、またスポーツによる頭部外傷の予防対策も発表した。来年3月には脳外傷学会が徳島で開催されることになっている。日本損害保険協会（損保）の協力を得て、高次脳機能障がいリハビリ講習会の開催をしていきたい。それに歯科との連携も進めているとの報告がなされました。



総会での風景



定例交流会の魅力ある運営を

3月交流会では、当事者・家族が抱える問題、現状を出し合い話し合いお互いに意見を出し合う交流をおこないました。あわせて今後の家族会の取り組みについても話し合われました。

4月交流会は、4月19日に障がい者プラザで開かれ、当事者・家族の現状および将来への展望を基調に、参加者全員が発言、お互いに意見交換をおこないました。なお交流会には南川先生（徳島大学）が出席され意見をいただきました。出席者は、障がい発生の状況、リハビリの実態、就労実態、将来への展望・不安を発言していましたし、家族会を知ったことで大きく救われたと話す家族もいました。

5月交流会は、川柳句会を行い、当事者、家族等11名が参加し今日の思いを歌にし、交流をふかめました。次ページに作品を掲載しています。

5月交流会(川柳句会)での作品から

5月定例交流会では、川柳を詠んで交流を深めました。「笑う、泣く、怒る、家族、友人、お金」を題にしてお互いに楽しくすごしました。

当日読まれたなかから紹介します。

- ☆ 孫三月 えも云われない 笑み浮かべ
- ☆ 笑い合いアカンベをする腹の中
- ☆ 涙腺が すぐ反応をする 傘寿
- ☆ 面接で 落ち押入れで 泣き明かす
- ☆ 怖かった 先生今は 好々爺
- ☆ 貸上げを 崖下で見る 年金者
- ☆ 同期生 名簿くるたび 薄くなる
- ☆ おはようの 声で機嫌が 分かる妻
- ☆ コンビニと 百均まるで 別世界
- ☆ 舞さんの 結願祈る 支援衆
- ☆ あれ、これで、思い伝わる 同じ釜
- ☆ 油さし 今日も動けと 散歩する
- ☆ いらっしゃい それはないだろ 病院で
- ☆ 高齢運転 熟練マークと 胸を張る

気軽に話し合える

家族会今後の活動予定

今期もはや6ヶ月が経過しました。この間の交流会では、当事者、家族の悩み、思いを出し合い交流をおこなってきましたが、定例交流会での具体的な取り組みの枠が定まらない状況が続いています。11月の医療リハビリテーション講習会に向けたとりくみと、高次脳機能障がいの実態を多くの方々に理解し、支援の輪を広げる取り組みが家族会に期待されておりそうした取り組みに重点をおき活動を前進させていくために、後半期の取り組みでは、当事者・家族が気軽に話せる家族会の取り組みを推し進めていきます。今後の日程は7月19日、8月16日、9月20日、10月18日、11月15日、12月20日となっています。

11月交流会では、例年実施している損害保険協会助成事業としての、高次脳機能障がいリハビリテーション講習会を徳島大学病院の協力を得ながら成功させていきます。

お菓子づくりに挑戦（6月交流会）

6月21日に開かれた定例交流会では、安部氏（家族会役員）を講師にして、お菓子（シュークリーム）づくりに挑戦、美味しい和菓子作りで交流を行いました。家族会での和菓子作りは二度目で、準備された材料を手際よく、レシピに沿って、講師の指導に従い作り上げました。しかし調理室のレンジの容量が小さく、準備したすべてを焼き上げることが出来ず、仕込んだ材料を持ち帰り自宅で仕上げるというハプニングもありました。わずか2時間と云う短い時間でしたが大いに交流を深めることができました。ごちそうさま。



手際よい講師の実習風景



出来上がったシュークリーム

高次脳機能障がい支援関係者研修会

三好保険所主催による平成25年度高次脳機能障がい支援関係者研修会が2月25日東みよし町役場で開かれました。研修会には、医療、福祉関係者を中心30名近くが受講、徳島家族会「すだち」からは、4名が受講しました。研修会は、高次脳機能障がい徳島コーデネーター中村氏を座長に進められ、はじめに神奈川リハビリテーション病院コーディネーター瀧澤学氏による記念講演「高次脳機能障がい支援について」があり、その後出席者からの発言、意見がだされました。講演内容では、高次脳機能障がいの発症原因と症状、家族が高次脳機能障がいと向き合う生活、制度活用等がはなされました。

高次脳機能障がい医療講演会の開催

3月10日高次脳機能障がいの医療講演会が徳島大学病院日亜メデカルホールで開かれました。「TMS誘発脳波による高次脳機能障がいの診断」と題して中島八十一先生(国立障がい者センター高次脳機能障がい情報支援センター長)の特別講演と「回復期における高次脳機能障がいの治療の最前線」と題して木戸保秀先生(松山リハビリテーション病院理事長)の講演がおこなわれました。受講者は、病院・医療関係者等100名余りが受講していました。高次脳機能障がい徳島家族会「すだち」からは6名が参加受講していました。

高次脳機能障がい実践的アプローチ講習会

5月18日東京慈恵会医科大学講堂(東京港区)で東京高次脳機能障がい協議会(TKK)主催の高次脳機能障がい実践的アプローチ講習会が開かれ、全国から医療関係者を中心に250名余りが受講しました。徳島家族会からも1名受講しました。

TKK主催の講習会は、今年5月、8月、12月の3期日で開催され、いずれの期日も4講座が開催されることになっています。今回第1期日では、第一講座は、中島八十一国立障害者リハビリテーションセンター学院長による「高次脳機能障がい支援と今後の課題」と題しての講義があり、就労訓練実例を上げ、具体的な患者対応が話されていました。

第二講座として、種村純川崎医療福祉大学教授の「コミュニケーション障がいとは」の講義があり、コミュニケーションはそれ自体が目的で訓練はそれ自体が楽しみとなるように進める。

第三講座では、横浜市総合リハビリテーションセンター山口加代子臨床心理士の「高次脳機能障がい



い理解と対応」の講義があり、高次脳機能障がいの個々障害にたいする対応の仕方の講義がありました。

第四講座では、古田兼裕交通事故弁護士全国ネットワーク代表による「交通事故と高次脳機能障がい及び成年後見人について」の講義があり、高次脳機能障がいの障がい実態と自賠責保険による後遺障害等級についての講義がありました。

次回第2講義期日は8月24日(日曜日)となっています。

地域社会と連携して制度の充実を

風船かずらを育てることから

風船かずらを利用しての手芸作品製作を行い、来年徳島で開催される脳神経外傷学会参加者に配布し高次脳機能障がいの実態と当事者・家族の活動を訴えることにしており、その材料となる風船かずらの植え付けを会員各自が行うこととして、今各人が育てています。

訓練として製作したすばらしい手芸品を手がけて、多くの方から評価されている福永会員に学びながら良い作品の完成を目指して取り組んでいるところです。



障がい者権利条約とは

障がい者の人権や基本的自由の享有を確保し、障がい者の固有の尊厳の尊重を促進するため、障がい者の権利の実現のための措置等を規定している国際条約。主な内容は、

☆障がいに基づくあらゆる差別（合理的配慮の否定を含む）を禁止しています。「差別」とは障がい者であることを理由とする直接的な差別だけでなく、例えば過度の負担ではないにもかかわらず、段差がある場所にスロープを設置しないなど、障がい者の権利の確保のために必要で適当な調整等を行わないという「合理的配慮の否定」も含まれるということが、明確にしめされています。またこの条約は、障がい者が他の人と平等に、住みたい場所にすみ、受けたい教育をうけ、地域社会におけるサービスを利用できるよう、障がい者の自立した生活と地域社会への包容について定めています。さらに、条約の内容が実施されているかを監視する機関を国内に設置することが明記されています。

国連総会で、「障がい者の権利に関する条約」いわゆる「障がい者権利条約」（略称）が採択されたのは、2006年12月のことです。障がい者権利条約は、障がい者の人権や基本的自由の享有を確保し、障がい者の固有の尊厳の尊重を促進するため、障がい者の権利を実現するための措置等を規定しており、障がい者に関する初めての国際条約です。その内容は前文及び50条からなり、市民的、政治的権利、教育・保健・労働・雇用の権利、社会保障、余暇活動へのアクセス等、様々な分野における障がい者の権利実現のための取り組みを締結国に求めています。

日本は2014年1月20日に、障がい者権利条約を批准しました。2006年12月、国連総会で障がい者権利条約が採択されてからおよそ7年目に批准したものです。

お知らせ

高次脳機能障がいリハビリ講習会

開催日時 2014年11月8日（土曜日）13時～16時

開催場所 徳島大学大塚講堂小ホール1、2

内 容 ①「高次脳機能障がい者の症候と医学的リハビリテーション」

講師：太田喜久夫先生（国際医療福祉大学病院リハビリテーション科部長）

②ミニフォーラム（高次脳機能障がい者に対する医科歯科連携）

主 催 徳島高次脳機能障がいリハビリテーション講習会実行委員会（委員長：永廣信治）

事 務 局 徳島家族会「すだち」

資 金 助 成 日本損害保険協会

参 加 費 無 料